

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長	村松 康之
健福-56	各種スポーツ行事事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	スポーツ課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	スポーツ・レクリエーションの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	身近なところで、自主的に、気軽に楽しむことができるスポーツの振興を図るとともに、指導者の養成と資質向上を図るため
効果	市民のスポーツ・レクリエーションの推進やスポーツ・レクリエーション活動の支援を図る

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、市民向けのスポーツ行事を開催し、地域に根ざすスポーツの促進を図った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策関連として、オンライン双方向運動プログラム事業を行った。
- ・アスリートを目指す志を持つジュニア世代の育成を図るため、強化練習会等を行った。
- ・令和4年度全国健康福祉祭(愛称:ねんりんピック)開催に向けてねんりんピックかながわ2022鎌倉市実行委員会と連絡調整を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	スポーツ行事開催事業	各種スポーツ事業委託(委託料)	参加人数(人)	28,137 / 60,000	60,000	60,000	46.9%
				9,260 / 10,401	8,739		
02	ジュニアアスリート育成事業	トップアスリートとの交流事業(参加人数)	参加人数(人)	1,005 / 300	1,100	1,100	335.0%
				1,197 / 1,364	1,524		
03	ねんりんピック事業	実行委員会開催(会議負担金)	参加人数(人)	— / —	—	—	/
				2,549 / 4,463	0	0	
04	一般事務経費	消耗品	—	— / —	—	—	/
				80 / 102	330	330	
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	1,852 / 0	0	0	
			地方債	0 / 0	0	0	
			その他特定財源	0 / 0	0	0	
			一般財源	11,234 / 16,330	16,330	10,593	
			事業費の合計(千円)		13,086 / 16,330	16,330	10,593
			人件費(千円)		12,044	8,443	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.5	1.5	1.5	1.0		
会計年度任用職員	0.5	0.5	0.5	0.5		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	スポーツ行事開催事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、予定していた一部の行事が中止したため。	地域でスポーツ活動に気軽に参加することで、市民のスポーツ実施率の向上につながる。	スポーツイベントに誰もが気軽に参加できる環境を整えるとともに、参加しやすくなるような企画を検討していく必要がある。
02	ジュニアアスリート育成事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、一部の教室が中止となったが、実施した教室はチラシ配付等の周知を行い、利用者は増加した。	幼少期から競技スポーツに親しむことや、鎌倉ゆかりのトップアスリートと交流することで、アスリートとしてのきっかけ作りや競技力向上に寄与した。	競技力の向上に資するため、競技団体との連携を強化し、更なる充実を図っていく必要がある。
03	ねんりんピック事業	ねんりんピック開催のための連絡調整を行うもので、指標等には適さない。	高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与した。	-
04	一般事務経費	消耗品等共通的な経費で指標の設定に適さない。		-
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー 体育協会・レクリエーション協会・スポーツ推進委員連絡協議会・地区スポーツ振興会・マリンスポーツ連盟・湘南ベルマーレ・徳洲会体操クラブ

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 拡充 改善・変更 現状維持 縮小 休止・廃止

- ・市民のスポーツ実施率の向上や健康維持・増進を目的として、市民のニーズ把握に努め、各種教室やイベントの充実を図る。
- ・身近なところで気軽にスポーツが実施できるよう地域スポーツの振興を図る。
- ・東京オリンピック・パラリンピックの開催により高まった市民のスポーツへの興味を維持するとともに、ジュニア世代を対象に教室を開催し市民の競技力向上を図る。
- ・障がい者スポーツに対する理解を深め、あらゆる市民がスポーツに親しめる環境を提供する。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	ジュニアアスリート育成事業参加人数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
幼少期から競技スポーツに親しむことで、アスリートとしてのきっかけ作りに寄与する	目標値	300	300	300	1,100			
	実績値	0	306	1,005				
	達成率	0.0%	102.0%	335.0%				

指標(単位)	地区スポーツ振興会協議会スポーツ行事参加人数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
地区スポーツ・レクリエーション活動の活性化の状況を把握するため	目標値	60,000	60,000	60,000	60,000			
	実績値	759	11,404	23,870				
	達成率	1.2%	19.0%	39.8%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	県民スポーツ月間でのスポーツイベント開催数							
団体名	鎌倉市	横浜市	秦野市	伊勢原市	葉山町	寒川町	箱根町	真鶴町
他市実績	2	1	2	2	1	1	2	1

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	スポーツ行事の継続や開催内容について、関係団体等と協議を重ねて検討していく。
----------------------	--